

『よさ、とりえ、輝く個性を伸ばし、笑顔あふれる学校』



長野中だより

学校教育目標

よく考え進んで学ぶ生徒
誠実で思いやりのある生徒
心身ともにたくましい生徒

平成29年4月10日発行 第1号 行田市立長野中学校 TEL 048-554-2240
ホームページアドレス <http://www.gyoda-naganochu.ed.jp/news/>

平成29年度スタート！

校長 漆原 亮



うらかな陽光の中、花の季節となり、新たなスタートを祝福してくれているかのようです。ご入学、ご進級おめでとうございます。

年度当初の人事異動により新たな組織で、創立71年目の長野中学校がスタートいたしました。教職員一同、一丸となって全力で取り組んでまいります。今年度も、保護者の皆様、地域の皆様にはご理解ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



平成29年度は、新1年生154名を迎え、全校生徒476名、17学級でスタートします。長野中学校の新たな1ページは、生徒の「よさ、とりえ、輝く個性を伸ばし、笑顔あふれる学校」に向けて充実した教育活動を推進してまいります。生徒にとって、『勉強がわかり、思い切り運動し、いい仲間が周りにいて、心身共に成長していくことができる』場所、それが『楽しい学校』、それが『長野中学校』と、誰もがわが母校を愛し、誇れるよう、指導・支援に全力を注いでまいります。

これまで外から見ていた長野中学校は、“地力のある”学校という印象があります。部活動や各種コンクールなど多くの場面で活躍する姿を目にし、耳にしました。これからも、“地力”、すなわち、備わっている能力、実力、才能を十分開花させるために、自ら全力で磨きをかけていってほしいと思います。

こんな話があります。よく知られたイソップ物語の『ウサギとカメ』では、カメにウサギが負けてしまった。それはなぜか？

たいてい、「ウサギが怠けて居眠りをしてしまったから」、と考え、答えるのではないのでしょうか？そうではなく、「ウサギの目標設定が間違っていたから」と指摘する説明があります。ウサギは格段に走力の劣るカメを競争相手として競うことで、競争相手をなめてしまった、大事なことは先にゴールに着くことであり、“ゴール”を意識して自分自身との戦いをすればよかったのだ、というものです。せっかく“地力”に恵まれていても、発揮できなければ宝の持ち腐れです。

ですから、長野中学校の生徒諸君にも、“地力”となる『自分のよさ、とりえ、輝く個性』に気づき、適切な目標やめあてを定め、自分から進んで磨き上げていってほしいと思います。それが中学校最大の関門でもある進路選択に大きくつながっていきます。

こうした考えのもと、平成29年度の長野中学校はスタートいたします。皆様のご理解ご協力、よろしくお願いいたします。